

# 三年次通信

山形県立山形西高等学校

第4号

令和4年4月19日(水)

「受験生という実感を得ることができた。」

「自分を見つめ直すいい機会だった。」

4/13(水)の6校時目、多目的運動場で、3年次の生徒全員を対象に進路課長講話が開催されました。多くの生徒が進路意識を一気に高めたようです。以下に生徒たちの感想を掲載します。



推薦入試について詳しく知った事で、自分には合わないなど強く実感出来ました。自己表現が苦手な、また、普通の勉強と並行して推薦入試の準備もするのは、私には大変かなと思いました。また、入試のスケジュールを見た事で入試に向けてのビジョンがより明確になり、これからどうして行けばいいかがよく分かりました。(1組)

今回の講話を聞いて、改めて自分の志望理由を深くじっくり考える必要があると感じました。推薦を考えるにしろ、一般選抜のみを受験するにしろ、なぜこの大学に行きたいのか、どういうことを学びたいのかをはっきりさせることで、より受験と向き合っていくことができると感じました。(5組)

今回の講話を聞きいたことにより、より一層受験に対する危機感が増しました。最後まで諦めなかった人が合格を勝ち取っているという言葉が拠り所にし、精進していきたい。(2組)

進路課の先生のお話を聞いて自分の進路を改めてよく考える良い機会になりました。推薦の話やこれから受験までの流れを知れば知るほど時間の無さを知り自分自身勉強のことやこれからの生活についてとても焦っています。まずは1日1日の勉強を大切にして頑張っていきたいです。(4組)

一年の間で自分で決断しなくてはいけないことがたくさんあり、そのどれもが早めに準備する必要があることを改めて認識しました。周りを頼りながら十分な準備をしていきたいと思いました。(3組)

私は出願する方法や種類が曖昧だったので、新しく始まった学期で知ることができてよかった。自分の行きたいところを本格的に定めて、自分が何をするためにその大学に入りたいのかを明確にできるように、しなければならないと思った。また、時間がないこともわかった。毎日を大事に情報に敏感になって、学習を進めていきたい。(1組)

今日の進路講話を聞いて、今まで以上に受験生という実感を得ることができた。私は入試方法として推薦入試を考えていないが、推薦入試の大まかな、流れや必要なこと、素質などを聞いて、ただやりたいという気持ちだけでは受験することができないということを知って、このことは一般入試にも当てはまることである。ただただあの大学に入りたい、あの学部で学びたいと夢見るだけでなくどうやったら志望の大学に入学できるか、入試や学習全般の攻略法を考え、とにかく自分自身と学習していくことを意識する時期であると実感した。また、配付されたプリントに、最後まであきらめなかったから入学できたという記述を見た。私もこれから、自分の納得いくまで学習して希望の進路を叶えられるよう、あきらめ突き詰めていきたい。(2組)

推薦入試について知らないことが多かったので正しい知識を得ることができてよかった。推薦入試にしる、一般入試にしる学力は必須なので入試に向けて勉強を頑張ろうと思った。また、志望大学の入試要項などを調べて将来についてもっと考えていこうと思った。(4組)

推薦入試について今まであまり理解できていなかった部分や曖昧だった部分について理解を深めることができた。また、入試までの日程や日数を表で見てもう一度確認したことで今の自分の学習状況や成績についての危機感を高めることができた。加えて、大学のアドミッションポリシーについてまだまだ調べられていなかったので確実に調べておこうと思った。(3組)

今回の講話で推薦についての詳しい話がわかり、自分の進路についてを親と話すことができました。また、その日のうちに様々な大学を調べ、第一志望を決めることができました。これからも目標に向かって頑張っていきたいです。(3組)

今日の講話を機会に、自分と志望大学を分析して、最善の選択が出来るように着実に準備を進めていきたい。また、入試までの長期計画の重要性を感じたのでしっかり計画を立てたいと思う。(5組)

自分は今まで、推薦の存在は知っていたけど詳しくは知らなくて、推薦という手段を選択するつもりがない自分には関係ないことだと思っていました。しかし今日の話聞いて、推薦と言うのも一つの受験の方法としてありなんだと思いました。自分の友達でも推薦を考えてるといっていた人もいたので、みんなしっかり考えているんだなという刺激になりました。話を聞いて推薦を使おうと思ったわけではないですが、具体的な話を聞いて、本当に受験生になったのだという自覚と思ったよりも時間がないことに焦りを感じました。今日の講話をいいきっかけにして、本格的に受験勉強を頑張りたいと思います。(4組)

推薦入試には向き不向きがあると知り、自分を見つめ直すいい機会だったと思います。志望している大学について知っているつもりでも、聞かれるとあやふやなところがあることに気付いたので、もっと深く調べたいと思いました。(2組)

私は推薦入試についてほとんど知らなかった。しかし今回の講話で推薦入試の条件やどのような人が向いているかなどを知ることができた。今までは知らないから受けないという気持ちが強かったが今は概要を知り推薦の特性に合わないから受けないという方向性で固めることができた。これは大きな変化だったと思う。これからは各大学のアドミッションポリシーをしっかり確認したい。(3組)

私は以前から総合型選抜に興味があったので今日の講演はとても参考になりました。今日の講演を聞いて、改めて総合型選抜の難しさが突きつけられたような気分です。しかし、それと同時にこれまでより一層努力していこうと決意を新たにすることができました。充実した1年間にしていきたいです。(1組)

今回の進路課長講話を通して、1日でも勉強をサボると他の受験生と大きな差をつけられるということがわかったので、家に帰ったら受験生という自覚を持って過ごしていきたいと思った。また、今まで推薦の仕組みについて全く知らなかったが、今回詳しい話を聞いて推薦は一般受験よりも早く終わるメリットもあり、相当な準備が必要で労力がかかるというデメリットもあることがわかった。年間のスケジュールを見てこれから何をすべきなのかだいたい見通しができたのでそれを実行できるように努めたいと思った。とにかく受験は後半になってから体力的にも精神的にも辛くなると思うが、最後まで諦めずに自分の進路実現を信じて頑張りたい。(2組)

今までは体調に左右され、自分の思うように学習を進めることができなかった。できる範囲で無理せずやってきたが、受験生となり、これからはそのような甘い取り組み方では進路実現は難しいと感じている。なので今後はより一層気を引き締めて生活していきたいと思う。(4組)

目標を定め、自信を持って邁進してほしい。ご家庭の協力が欠かせません。よろしくお願いいたします！